



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 丸藤シートパイル株式会社

コード番号 8046 URL <http://www.mrfi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 志村 孝一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 浅田 耕一

TEL 03-3639-7641

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	19,820	11.8	236	△36.7	287	△47.4	141	△52.5
24年3月期第3四半期	17,721	6.8	373	—	546	—	298	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 139百万円 (△44.8%) 24年3月期第3四半期 252百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第3四半期	3.90	—
24年3月期第3四半期	8.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第3四半期	39,053	23,228	59.5	637.71
24年3月期	38,930	23,381	60.1	641.84

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 23,228百万円 24年3月期 23,381百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	—	—	8.00	8.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	27,400	12.6	620	23.6	720	△9.6	380	△9.4	10.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

一株あたりの予想当期純利益については、平成25年3月期第3四半期中平均株式数36,428,377株により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	40,000,000 株	24年3月期	40,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	3,574,106 株	24年3月期	3,570,693 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	36,428,377 株	24年3月期3Q	36,435,443 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興関連事業により持ち直す傾向が一部見られたものの、長引く欧州債務危機と円高の長期化に加え、新興国経済の減速により、先行きの不透明感が払拭されない状況が続きました。

当社グループが属する建設業界におきましては、景気の不透明感を受け、民間建設投資は低調に推移しました。一方、公共建設投資では、首都圏の大型プロジェクトが緩やかに進行し増加傾向に転じ、震災復興関連の需要におきましても徐々にではありますが増加したことにより、減少傾向に歯止めがかかりました。

このような環境の下、当社グループは品質とサービスの向上に取り組み、受注の確保に注力してまいりました。昨年度より進めております工場設備の改修・整備は、名古屋工場、埼玉工場に続き、青森工場が完了し、受注拡大に対応できる体制が整いました。本格化する震災被災地の復旧・復興事業に対しては、新たに大船渡出張所を開設し、東北地方の営業体制の強化を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は198億20百万円（前年同四半期比11.8%増）、連結営業利益は2億36百万円（前年同四半期比36.7%減）、連結経常利益は2億87百万円（前年同四半期比47.4%減）、連結四半期純利益は1億41百万円（前年同四半期比52.5%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は390億53百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億23百万円の増加となりました。その主な要因は、需要の増加に伴い建設資材が19億41百万円の増加、現金及び預金が15億8百万円の減少、受取手形及び売掛金が5億90百万円減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は158億24百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億75百万円増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が5億80百万円の増加、未払法人税等が3億28百万円の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は232億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億52百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.6ポイント低下した59.5%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月31日発表の平成25年3月期の連結業績予想は変更しておりません。なお、今後の情報収集等により見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期利益はそれぞれ3百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,680	3,171
受取手形及び売掛金	11,472	10,881
商品	143	176
建設資材	13,261	15,203
仕掛品	24	25
貯蔵品	60	46
その他	450	383
貸倒引当金	△243	△318
流動資産合計	29,849	29,569
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,209	4,209
その他(純額)	1,634	1,942
有形固定資産合計	5,844	6,152
無形固定資産		
投資その他の資産	25	164
その他(純額)	3,304	3,256
貸倒引当金	△92	△88
投資その他の資産合計	3,211	3,167
固定資産合計	9,081	9,484
資産合計	38,930	39,053
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,393	8,973
短期借入金	5,180	5,180
未払法人税等	356	27
引当金	365	188
その他	817	1,131
流動負債合計	15,112	15,500
固定負債		
引当金	177	109
その他	258	213
固定負債合計	435	323
負債合計	15,548	15,824

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,626	3,626
資本剰余金	5,205	5,205
利益剰余金	15,338	15,189
自己株式	△797	△798
株主資本合計	23,372	23,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	6
その他の包括利益累計額合計	9	6
純資産合計	23,381	23,228
負債純資産合計	38,930	39,053

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	17,721	19,820
売上原価	14,276	16,396
売上総利益	3,444	3,423
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	0	74
報酬及び給料手当	1,416	1,443
賞与引当金繰入額	93	103
退職給付費用	172	122
その他	1,387	1,442
販売費及び一般管理費合計	3,071	3,186
営業利益	373	236
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	7	6
受取地代家賃	122	137
その他	112	29
営業外収益合計	245	179
営業外費用		
支払利息	32	31
固定資産処分損	—	52
その他	39	44
営業外費用合計	72	127
経常利益	546	287
特別利益		
固定資産売却益	6	6
特別利益合計	6	6
特別損失		
固定資産売却損	1	—
災害による損失	15	—
その他	1	—
特別損失合計	18	—
税金等調整前四半期純利益	535	294
法人税、住民税及び事業税	140	32
法人税等還付税額	△34	—
法人税等調整額	130	119
法人税等合計	236	152
少数株主損益調整前四半期純利益	298	141
四半期純利益	298	141

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	298	141
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△46	△2
その他の包括利益合計	△46	△2
四半期包括利益	252	139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252	139

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。